

グリーンレター Green Letter

Green Column グリーンコラム

01 今春の湿原

02 春の代表格！スミレ類

Vol.344

2026/04/01



鬼丸和幸《雪解けの沢》

Photo 今月の1枚

春が来ました！郊外の山林内を流れる沢沿いを、長靴で歩いてみました。沢の水は雪解け特有の白く濁った状態でしたが、快晴のこの日は、冷たい沢の水がとても心地よく感じられました。途中、渡渉しようと、まだツララが垂れ下がる凍った倒木の上を、恐る恐る歩いて越えようとしたのですが…案の定、滑って“ドボン”してしまいました。（鬼丸和幸）



01 Green Column グリーンコラム

今春の 湿原

写真・文／鬼丸和幸

春になると、必ず訪れる場所があります。美幌町と北見市の境界にある JR 石北本線 緋牛内トンネル付近に広がる湿原です。この湿原は、おそらく美幌町で最大の面積を誇り、夏は湿生植物の代表であるヨシやスゲ植物が、一面を覆います。また湿原の縁部には、ハンノキの大木が点在し、その葉が生い茂って鬱蒼とした雰囲気^{うっそう}を醸し出します。

春、まだ植物が繁茂しないこの時期は、見通しも良く、開放的な雰囲気となります。胴長を履いて、深い泥に埋まりながら湿原の中に入っていくと、湿原の辺り一面に咲き乱れるミズバショウの姿を見ることができます。さらに、湿原の中でもやや乾いた場所では、美幌町内の他地区ではなかなか見ることができない、黄色く素朴な花をつけるナニワズや、春を代表する植物であるフクジュソウの黄色い花、ニリ

ンソウの白い花、エゾエンゴサクの青紫の花を、あちらこちらで見ることができます。

ただ、この湿原にアプローチするには、林道が崩壊しているため、石北線沿いの線路脇を延々と歩いて谷底へ降りるか、湿原に最も近い町道脇に車を停め、とても急な林の斜面を降りて、谷底へ行くしか方法がありません。いずれにせよ、難儀なアプローチとなります。

苦労してたどり着いた湿原では、春のごく限られた時期にしか見られない、春の草花たちの可憐な姿^{かれん}を垣間見ることができます。

春の代表格！ スミレ類

写真・文／城坂結実



春です！年々雪解けが早くなり、近年の4月は、文句なしに春を感じられる時節となりました。

「春の花」というと、フクジュソウやキタコブシなど色々と思いつかびますが、スミレ類もその代表格ではないでしょうか。その可憐な花の色や、蝶のような花の形、地面近くで楚楚と咲く様は、雪解けから解放された春を表現しているように思えます。一方「スミレ類は見分け方が難しくて…」と、顔を曇らせる方が多いのも事実。私も、数年前までその一人だったので、気持ちはよくわかります。

植物は見分け方を気にせずに、花の美しさを楽しむのが一番なのですが、ここでは気になる方のために、美幌町でスミレ類を見分ける際のポイントをお伝えします。観察場所としておススメなのは、5種類のスミレ類が見られる美幌みどりの村森林公園です。

まずは、葉の形から観察です。細長ければスミレ、ハート形で毛が多いのはアカネスミレです。どちらにも当てはまらなければ、他の3種類ですので、花へ目を移してみましょう。

花が白色で、花の後ろが丸い形をしているのはツボスミレです。花が紫色の場合は、咲いている時期で見分けることができます。4月から5月に咲くのは、アイヌタチツボスミレ（写真）、6月に咲くのはエゾノタチツボスミレです。美幌みどりの村森林公園でこの5種類を見分けられれば、スミレ類の識別のコツがつかめているはずですよ。

美幌博物館受付にて販売中の「美幌みどりの村森林公園草花ハンドブック（税込み900円）」には、5種類の見分け方が写真付きで載っています。ハンドブックを片手に、スミレ類と対話しながらの散策はいかがでしょう。

Exhibition 展示

特別展「生き物たちの地球」

～11月23日(月)

Event イベント

持ち物等は申込時にご確認ください

プチ工房「宝石発掘」

4/10(金)、11(土) 10:00～12:00、14:00～16:00 自由入室で作品
ができ次第終了

美幌博物館1階 講座室・400円

講師/町田善康(美幌博物館)

対象/どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)

申込み/美幌博物館に電話で申込み。各日50名で締切。

春のこどもの日みどりの村まつり

5/5(火)

美幌博物館とKITEN・参加費無料

申込み/申込み不要

美幌博物館講座(自然編)

「アイヌ文化に生きる!植物を観察しよう」

5/23(土) 10:00～12:00

美幌町内(集合解散は美幌博物館)・200円

講師/内田祐一(国立アイヌ民族博物館)、城坂結実(美幌博物館)

対象/中学生以上(小学生以下は保護者同伴)

申込み/美幌博物館に電話で申込み。20名で締切。

美幌博物館観覧料改定のお知らせ

令和8年4月1日より、常設展示室の観覧料を改定いたします。

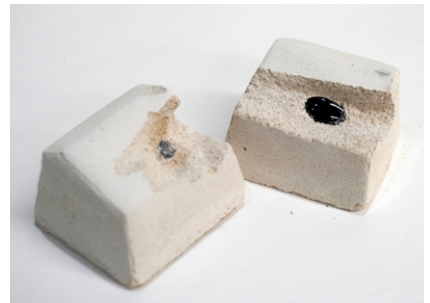
【旧】大人300円(団体240円)→【新】400円(団体320円)

なお、下記の方は4月1日以降も無料です。

- ・高校生以下
- ・特別展、企画展、ロビー展のみの観覧
- ・障害者手帳の交付を受けている方、これらに準ずる方、付添人
- ・美幌町内に居住している65歳以上の方

送付先の変更、または停止などをご希望の場合

お引越しなどでご住所が変わられた、あるいは送付を止めてほしいなどのご希望がございましたら、美幌博物館までお知らせください。



Tweet つぶやき

昨年、愛犬と町内の河川敷を散歩していたところ、美幌町で初めて見る外来種の草花を見つけました。まさに、犬も歩けば棒に当たる。詳細は、2026年3月発行の、美幌博物館研究報告第33号に書いています。せっかくなので、次回のコラムでもご紹介したいと思います。(城坂結実)



美幌博物館月刊情報誌 Green Letter

【発行】美幌博物館

【デザイン】城坂結実

【編集】城坂結実

【お問合せ】美幌博物館

〒092-0002

北海道網走郡美幌町字美倉 253-4

Tel. 0152 (72) 2160

Fax. 0152 (72) 2162

